

科目名	メディカルトレーナー演習 4								年度	2025
英語科目名	Medical trainer practice 4								学期	後期
学科・学年	スポーツトレーナー科三年制 2 年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	演習	
担当教員	柴崎	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸接骨院従事者			
【科目の目的】 スポーツドクター・医療関係者と連携・協力し、医学の知識を活かしてスポーツライフをサポートするのがメディカルトレーナーです。 メディカルトレーナー業務に必要な運動器系の疼痛、スポーツ障害への判断力の構築、その対応手段として解剖学、運動生理学に基づいた徒手療法の習得や運動療法の習得を目的とします。										
【科目の概要】 メディカルトレーナーに必要な、全体の応用的なスキルを身につけます。										
【到達目標】 メディカルトレーナーとして可能な手技によるアプローチを主眼に置き、スポーツ選手へのリハビリ、身体のメンテナンス・ケアを学びます。整体術として基礎的な理論・手技を修得します。 A：頸部・上肢の整体 B：腰・臀部・下肢の整体 C：特殊テクニック										
【授業の注意点】 服装：学校指定ウェア、インシューズ※アクセサリを外してください。持物：テキスト、筆記用具（レポート用紙orルーズリーフ）、バインダー授業内容、気温、天気などを考慮して水分補給の時間をとります。※各自、水・スポーツ飲料・お茶を準備。（ジュース等は不可）授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 もう少し					
到達目標 A	実技と結びついた理解		しっかり理解できる		概ね理解できた					
到達目標 B	適切な実技が理論を結びついて実践できる		適切な実技が実践できる		概ねできる					
到達目標 C	適切な実技が理論を結びついて実践できる		適切な実技が実践できる		概ねできる					
【教科書】 なし										
【参考資料】 配布プリント										
【成績の評価方法・評価基準】 課題・平常点										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		メディカルトレーナー演習 4				年度	2025	
英語表記		Medical trainer practice 4				学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	整体実技	頰部・上肢の実技	1	頰部・上肢の整体	頰部・上肢の整体が理解できる	2		
2		下肢の実技	1	下肢の整体	下肢の整体が理解できる	2		
3		四肢のアプローチ	1	四肢の整体	四肢の整体が理解できる	2		
4		全体のアプローチ	1	全体の整体	全体の整体が理解できる	2		
5		特殊テクニック		1	M&Mソフトリリース	M&Mソフトリリースが理解できる	2	
6							2	
7							2	
8							2	
9							1	Eスト、ストマ、エイト
10		頰肩のアプローチ	1	頰肩の整体	頰肩の整体ができる	2		
11		腰臀部のアプローチ	1	腰臀部の整体	腰臀部の整体ができる	2		
12	実技確認	上記の実技確認	1	上記の整体実技確認	上記の手技ができる	2		
13	整体実技まとめ	頰肩のアプローチ	1	頰肩の整体	頰肩の整体ができる	2		
14		腰臀部のアプローチ	1	腰臀部の整体	腰臀部の整体ができる	2		
15	総合理解	デモンストレーション	1	J-C A I R Oデモン ストレーション	J-C A I R Oデモンストレーションができる	2		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他								
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった								
備考 等								